

平成29年度 事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人
兵庫県青少年本部



平成29年度事業報告書

近年、グローバル化や情報化の進展等に伴い、青少年を取り巻く環境が大きく変化する中で、いじめ、不登校、ひきこもり、児童虐待などの青少年の問題は依然として深刻な状況にあり、スマートフォン等の急速な普及に伴い、長時間利用による生活リズムの乱れや有害サイト等を通じた被害が増大している。また、社会が豊かで便利になる中で青少年の自然体験、社会体験などの実体験の不足が、青少年の健やかな成長を阻害する恐れも指摘されている。

当青少年本部では、こうした諸課題に対応するため、青少年団体やNPO等多様な活動主体との連携・協力のもと、「ひょうご青少年憲章」を青少年の育成指針として、課題解決に向けた先導的・専門的な事業を展開するとともに、青少年の健全育成及び自立支援に取り組む施設の円滑な運営に努めてきた。

特に平成29年度は、このような状況を踏まえ、県の重要施策に呼応した「①青少年の体験活動を通じたふるさと意識の醸成」、喫緊の重要課題である「②青少年のネットトラブル防止大作戦」を引き続き重点事業に掲げ、家庭、学校、地域の連携のもとに青少年育成県民運動として展開した。

I 多様な活動主体と連携した協働事業の推進

1 青少年育成に関する普及啓発・県民運動の推進

広く県民各層へ青少年の課題や青少年の育成支援に対する理解・浸透を図るとともに、青少年団体をはじめ、県民・事業者等地域の多様な活動主体との協働により、青少年の非行防止や育成環境の浄化等の取組を推進するための普及啓発を行った。

(1) ひょうご青少年憲章の普及・啓発 〈自主〉

青少年育成の指針として策定された「ひょうご青少年憲章」の普及啓発を通じて、憲章の理念の浸透と実践を促進した。

- ① 憲章の理念等を県民に周知する啓発資材（リーフレット等）の配布
- ② 各種刊行物への啓発記事の掲載
- ③ 各種イベント、会議等における憲章の啓発

(2) 青少年を守り育てる県民スクラム運動の展開

地域、学校、保護者、事業者、行政等が連携して、未成年者の飲酒・喫煙、万引き、薬物乱用の防止やインターネット利用対策等、青少年の非行防止と社会環境の浄化を図るとともに、健全育成に対する県民の意識の高揚に努めた。

① 青少年育成スクラム会議の開催

本部における「青少年育成全県スクラム会議」、県内 10 地域における「青少年育成地域スクラム会議」を開催し、青少年の健全育成の方策、非行・被害防止等について協議し、実践につなげた。

ア 青少年育成全県スクラム会議

- ・開催日 平成 29 年 7 月 3 日（月）
- ・場 所 兵庫県農業共済会館
- ・参加者 関係業界、青少年育成団体、青少年愛護活動推進委員等 49 人

イ 青少年育成地域スクラム会議

県内 10 地域において 42 回開催し、2,150 人の参加を得た。

② 「大人が変われば 子どもも変わる」キャンペーンの実施

社会のルールを守り、生きる姿勢を正すなど、まず大人自身が変わらなければならないことについて、地域で 64 回の街頭キャンペーン等を実施し、18,774 人の参加を得た。

③ 万引き防止対策等の推進 〈自主〉

兵庫県青少年を守る店連絡協議会との連携により、万引き防止対策等の実施と家庭への啓発を行った。

ア 小学生向け非行防止啓発リーフレット「消えないよ あなたが出した その写真」を 75,000 部作成し、県内の小学 5 年生とその保護者及び量販店等へ配付した。

イ 量販店等の自主媒体（新聞折り込みチラシへの啓発文の掲載や店内放送等）により啓発した。

④ 未成年者の飲酒・喫煙、薬物乱用防止活動の推進 〈自主〉

県小売酒販組合が実施した未成年者飲酒防止街頭キャンペーンに協力し、街頭啓発活動を実施した。また、喫煙や薬物乱用等の危険性を訴えた啓発リーフレット 75,000 部を配付（再掲）した。

(3) 地域における普及啓発 〈自主〉

青少年の非行防止や育成環境の浄化等を図るため、各地域の特色を活かした啓発活動を行った。

(4) 少年の主張兵庫県大会の開催

① 全県大会の開催

県内の中学生が、考え、感じていることを作文にまとめ、発表することを通じ、自ら社会の一員としての役割と責任を自覚するとともに、大人世代が少年を理解する契機とした。

- ・開催日 平成 29 年 9 月 23 日（土・祝）

- ・ 場 所 兵庫県民会館
- ・ 発表者 10 人 (各地域代表)
- ・ 応募者 9,175 人
- ・ 出席者 188 人

② 地域大会の開催 〈自主〉

県大会で発表する各地域代表の選考を兼ね、地方本部において、発表会を開催した。

(5) ホームページ・機関紙等による啓発 〈自主〉

青少年育成活動に係る啓発と情報提供のため、ホームページやフェイスブックを活用して常時情報発信に努めるとともに、機関紙「青少年ひょうご」(本部4月：9,000部、10月、1月：各5,000部)や各種情報誌、「地方青少年本部だより」(各地方本部)を発行した。

(6) 兵庫県青少年本部創立 50 周年記念 (平成 30 年度) に向けた取り組み

① 創立 50 周年記念「キャッチコピー・ロゴマーク」の選定

平成 30 年に本部創立 50 周年を迎え、様々な記念事業を展開するにあたり、これらの事業と一体となって本部の魅力的なイメージを内外に発信するためのキャッチコピー及びロゴマークを選定した。

ア キャッチコピー

「夢がある 一人ひとりが 輝いて」

イ ロゴマーク



② 「こども・若者ひろば」事業の実施

こども・若者が元気に活躍する姿を通して、地域に夢や希望を届ける「こども・若者ひろば」事業を関係施設等の連携のもとに、創立 50 周年記念イベントとして実施した。

ア 実施日、実施場所

平成 29 年 12 月 8 日 (金) 県庁 2 号館ロビー及び兵庫県民会館

イ 実施主体

こどもの館、神出学園、山の学校、兎和野高原野外教育センター、いえしま自然体験センター、青少年本部事務局

ウ 事業内容

場所 (観客)	内容	参加者
県庁 2 号館 ロビー	ミニコンサート ・ 神戸幼稚園 ・ 太子高校 J コーラス部 (1 回目)	220 人
	体験ブース・販売	

兵庫県民 会館	ミニステージ ・太子高校Jコーラス部（2回目） ・クラウンサーカス	150人
------------	---	------

2 ネットワークの形成

青少年団体や青少年育成関係者のみならず、地域団体、県民、事業者等、地域の多様な主体が各々の役割に応じて青少年育成活動へ参画・協働して取り組むためのネットワークを形成し、青少年活動のより一層の広がり と活性化を図った。

(1) 「ひょうご子ども・若者応援団」事業の推進〈自主〉

次代を担う青少年のすこやかな成長を地域ぐるみで支援するため、県との協働のもと、企業や社会奉仕団体等から提供される多様な資源を、青少年育成に取り組む団体・グループ等へ橋渡しをし、もって地域における青少年活動の活性化を図った。

① 企業・団体及び青少年団体等の募集・登録

資源（資金、物資、人材等）を提供する企業・団体等の募集・加盟を進めるとともに、青少年団体の発掘・登録を行った。

- ・加盟企業等：626社（H30.3.31現在）
- ・登録団体（青少年団体・グループ等）：307団体（H30.3.31現在）

② 青少年団体等への支援

企業・団体等からの寄附金を原資として、青少年団体等が行う青少年育成事業に対する助成事業及び青少年団体等との協働事業を行った。

ア 一般助成事業の実施

県内の青少年団体等が実施する自然体験・社会参加・非行防止・リーダー養成などの青少年育成事業に対して助成した。

- ・助成額 100千円上限
- ・助成実績 46件、4,012千円

イ 災害復興支援特別助成事業の実施

県内の青少年団体等が、県内または被災地において台風・豪雨等の自然災害等で被災した青少年を支援する事業に対して助成した。

- ・助成額 150千円上限
- ・助成実績 8件、1,081千円

ウ 青少年育成協働事業の実施

青少年育成活動を推進する団体・グループ等と協働する事業を各地方青少年本部等において積極的に展開した。

- ・募集実績 24件、3,000千円

③ 資源（物資、人材の提供等）とニーズのマッチング

企業・団体等から提供される物資・人材等と、それらを必要とする青少年団体の活動（ニーズ）とのマッチングを行った。

- ・マッチング件数 224 件（平成 20 年度からの累計 2,893 件）

④ 事業成果の発信

「ひょうご子ども・若者応援団通信」の発行（年 2 回・各 5,000 部）やホームページ等を活用し、事業の PR を行うとともに、事業成果や協力企業・団体等による支援状況について広く発信した。

(2) ひょうご青少年社会貢献活動認定制度の推進

青少年団体・NPO 等が実施する社会貢献事業（活動）に青少年が参加した場合、その活動実績を青少年本部が認定し、これを就職活動等の際に活用できる仕組みづくりを進め、企業や地域社会の中で活躍できる「社会の担い手」としての意識の高い青少年を育成した。

① 制度の概要

- ア 青少年団体やNPO等が行う社会貢献事業（活動）のうち、当認定制度にふさわしい事業（活動）を兵庫県青少年本部が承認する。
- イ 承認された事業（活動）に参加し、修了基準を満たした青少年に対し、青少年本部が修了認定証を交付する。
- ウ 制度の趣旨に賛同し、登録する企業等を募る。
- エ 青少年は、企業等での就職活動等において、修了認定証をもとに、社会貢献事業（活動）での実績や身に付けた能力をPRする。

② 実施内容

- ア 事業承認 9 事業（8 団体）
 - ・参加者 18 人
 - ・認定者 11 人
- イ 企業等の賛同状況 148 社
- ウ 推進委員会の開催 平成 30 年 2 月 6 日（火）

(3) 青少年団体の活動支援

県下の青少年活動の活性化を図るため、青少年団体等の運営基盤を強化するため支援を行った。

① 青少年団体への活動促進等助成

県内全域を活動範囲とする青少年団体が行う青少年活動や育成活動の促進・活性化を図るため助成を行った。

- ・助成団体 野外活動協会（OAA）、兵庫県青年洋上大学同窓会、兵庫県ユースホテル協会、兵庫県子ども会連合会、日本ボーイスカウト兵庫連盟、ガールスカウト兵庫県連盟

② 青少年健全育成事業推進のための調査研究等助成 〈自主〉

青少年団体活動の充実・活性化のための調査・研究活動を支援するため、兵庫県青少年団体連絡協議会に対して助成を行った。

- ・調査研究テーマ「次世代につなぐ青少年活動」

～青少年団体活動の歴史をふりかえり、これからの模索する～

③ 地域の青少年団体への助成（地方本部） 〈自主〉

地域の青少年活動や育成活動の活性化を図るため、地域の課題や状況を踏まえた助成を行った。

(4) ひょうご青少年活動フェスティバルの開催 〈自主〉

青少年活動を広くPRするため、青少年活動関係者や県民が参加するフェスティバルを開催するとともに、青少年活動に関わる青少年自らが企画・運営を行うことにより、企画力等のスキルアップ、リーダーシップの養成、ネットワークの形成を図った。

- ・開催日 平成30年2月25日（日）
- ・場 所 元町商店街4丁目
- ・参加者 約1,800人
- ・テーマ 「つながる・ひろがる・ミライがある」
- ・内 容 ブース出展、パネル参加団体（8団体） 等

Ⅱ 青少年の生きる力を育む先駆的な体験活動の推進

1 体験活動機会の提供

青少年が豊かな感性を育み、たくましく成長することをめざし、自然や地域社会の中で多様な体験ができる活動の機会を提供するとともに、体験活動を通じて世代間、地域間交流の促進やふるさと意識の醸成を図った。

(1) 子どもの冒険ひろば事業の実施

身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが安心して自由に遊びながらたくましく生きる力を育む拠点である「子どもの冒険ひろば」の運営団体を支援するとともに、ひろばを支える人材の確保や情報発信の強化、ひろば関係者の交流促進に取り組み、地域に根ざしたひろば活動を推進した。

① 子どもの冒険ひろばの開設支援

ひろばを運営する団体の活動経費やプレーリーダー等の配置に係る経費に対して助成を行った。

- ・運営団体 NPO 法人、青少年活動団体等
- ・助成額 1 団体あたり 400 千円を上限
- ・助成実績 48 団体・18,327 千円
- ・利用者数 53,817 人

② ひろばリーダー研修の実施

子どもの冒険ひろばの活動を現場で支える人材の養成・確保を行うため、研修会を実施した。

- ・対象 各ひろばのスタッフやプレーリーダー
- ・実施回数 13 回
- ・参加者 282 人

③ 情報発信・PR

「子どもの冒険ひろば全県一斉開催月間」(11 月)を設定するとともに、ひろばの活動状況等を紹介する情報紙の発行やホームページによる情報発信を行った。

④ 子どもの居場所づくり交流会(拡大3ひろば交流会)の開催

子育て関連ひろば間の連携及び相互協力体制を強化するため、交流会を開催した。

- ・開催日 平成 29 年 10 月 13 日(金)
- ・場所 兵庫県民会館 ・参加者 76 人
- ・テーマ 「みんなの居場所づくり」

⑤ 子ども・若者ひろば相談員の配置

各運営団体の状況に応じたきめ細かな相談対応やひろば活動に対する指導・助言等を行う、子ども・若者ひろば相談員（1人）を配置した。

(2) 若者ゆうゆう広場ネットワーク（ゆうゆうネットワーク）の推進

「若者ゆうゆう広場」を自主運営する団体のネットワークづくりを進めるため、意見交換や情報交換を図る機会を提供した。

(3) 「ふるさとづくり青年隊」事業の実施

地元青年と公募青年による「ふるさとづくり青年隊」が、NPOや企業等の支援のもと、地域団体等と連携・協力して、地域課題解決に取り組むことにより、ふるさとへの関心や意識を養うとともに、社会貢献への意識を高め、地域づくりの核となる人材を育成した。

① 助成事業の実施

「ふるさとづくり青年隊」と協働して課題解決に取り組む地域団体・地域協議会等に対して助成した。

- ・助成対象 地域団体（自治会、まちづくり協議会 など）
- ・助成額 新規団体 1,000千円上限 ・助成団体数 5団体
継続団体 500千円上限 ・助成団体数 4団体

② 「ふるさとづくり青年隊」青年隊交流会の開催

円滑な事業展開を図るため、青年隊相互の情報交換や交流、さらに今後の活動に向けて事業選定委員会委員からの具体的な助言を受ける機会として青年隊交流会を開催した。

- ・開催日（場所） 平成29年7月1日（土）（兵庫県民会館）
平成29年12月8日（土）～9日（日）
（淡路じゃのひれアウトドアリゾート）
- ・青年隊参加者 32人

③ 「ふるさとづくり青年隊」成果発表会の開催

事業を振り返るとともに、事業成果の発信等を図るため、成果発表会を開催した。

- ・開催日（場所） 平成30年3月17日（土）（兵庫県公館）
- ・参加者 152人

④ ふるさとづくり青年隊サポーターの設置

個々の活動状況に応じたきめ細かな相談対応や活動状況に対する指導・助言等を行う「ふるさとづくり青年隊サポーター」（1名）を設置した。

実施団体	事業名	所在地	青年隊員数
あわじFANクラブ	農業のビジネス化への仲間づくり	洲本市	12
猪名寺自治会	万葉の里・猪名寺忍者学校 ～ふるさと青年隊と忍者がまちおこし～	尼崎市	19
TEAM スマブラ！	スマブラ！ ～ Suma International Friendship Plan ～	神戸市 須磨区	9
浅野陣屋・札座 ネットワーク	相生からの歴史ツーリズムによる 知の発信	相生市	7
OGINO ランドマーク	伊丹市北部活性化フェスティバル	伊丹市	22
そうめん都構想 プロジェクト	そうめん都構想プロジェクト ～たつのをそうめんの都として 認知度を向上させ、活性化させる～	たつの市	12
上郡校区まちづくり 推進委員会	上郡旧市街地活性化事業 「若者の手で旧市街地に希望の光を」	上郡町	14
Rokken Innovation	Rokken College ～下町がキャンパス～	神戸市 長田区	17
鷹巣活性化委員会	都市と山村の協働 「中風呂公園化大作戦」	宍粟市	8
計9団体		—	120

(4) 「ひょうごっ子・ふるさと塾」事業の実施

青少年のふるさと意識の醸成等を図るため、青少年活動団体が実施する、身近な地域での社会体験や豊かな自然に触れる多様な体験事業に対して助成を行った。

- ・助成対象 兵庫県青少年団体連絡協議会加盟団体及びその地域団体
- ・助成額 1事業あたり250千円を上限
- ・助成実績 21団体37事業、8,503千円

(単位：人)

青少年団体	事業名（実施場所）	参加者
兵庫県子ども会連合会	地域で取り組む国際交流・理解（姫路市） 他1件	393
猪名川町子ども会連絡協議会	キッズパワー！サマーキャンプ2017(猪名川町)	55
加古川市少年団指導者協議会	若い力を発揮しよう！（加古川市）	29
播磨町子ども会育成連絡協議会	ふれあいウォークラリー（播磨町）	58
淡路市子ども会連絡協議会	地引網体験会（淡路市）他1件	193
日本ボーイスカウト兵庫連盟 (姫路第6団)	私のまちの宝もの伝えるもの Treasures in my Town（姫路市、佐用町、太子町、神河町）	423

日本ボーイスカウト兵庫連盟 (尼崎第26団)	私のまちのたからもの(尼崎市)	895
日本ボーイスカウト兵庫連盟 (伊丹第11団)	私のまちの宝探し(伊丹市)	759
ガールスカウト兵庫県連盟	あつまれひょうごっこ in 赤穂(赤穂市)	84
野外活動協会(OAA)	田舎生活体験キャンプ(宍粟市)他6件	1,170
兵庫県ユースホステル協会	野外活動等を通して「ふるさとの良さ」を再発見しよう(神戸市)他1件	150
三田市商工会青年部	ふるさとの宝「黒枝豆」を(篠山市、三田市)	89
多可町商工会青年部	職業体験事業「ワクワクワーク」(多可町)	119
姫路市商工会青年部	銀の馬車道PR事業(姫路市)	6,425
佐用町商工会青年部	小学生職業体験事業トライアルキッズ(佐用町)	124
神戸YMCA(西神戸プラ ンチ)	子どもと家族の自然体験事業(神戸市)	107
兵庫県青年洋上大学同窓会	宿泊型2017豊かな五国を体感する(姫路市)他3件	431
兵庫県モラロジー青少年団 体連絡協議会	学生生徒児童合宿セミナー(神河町)	46
兵庫県世界青年友の会	箕谷子ども夏祭り(神戸市)他1件	2,308
生涯学習サポート兵庫	めざせ!おとまりマスター(明石市、加古川市)	73
いえしま自然体験協会	はじめての家族キャンプ(姫路市)他3件	251

(5) 「体験の風をおこそう運動」普及・推進事業の実施 〈自主〉

社会全体で体験活動を推進する機運を高め、ふるさとへの愛着を深めるため、啓発セミナーの開催、啓発チラシの配布を行うとともに、アドバイザーの派遣により体験活動の活性化を図った。

アドバイザー派遣回数：7回

(6) 地域特性を踏まえた体験活動等の実施

地方青少年本部及び神戸事務部において、地域特性とニーズに応じた自主事業を展開した。

2 県立こどもの館の運営

子どもたちが家族や団体で訪れ、あそび・表現活動・図書活動・工作などを通して多くの人とふれあい、豊かな個性や温かい心を育む機会と場を提供するとともに、県内の児童健全育成機関や団体の活動の中核拠点として、保護者や子育て支援に携わる人たちに、学び、研修する機会と場を提供した。

(1) 開 設 平成元年7月

(2) 所 在 地 姫路市太市中 915-49

(3) 事業概要

① 子どもの生きる力を育む多彩な体験活動の推進

ア こどもフェスティバルの開催

- ・実施日 平成 29 年 5 月 5 日（こどもの日） ・参加者数 約 6,700 人
- ・内 容 オープニングセレモニー、コンサート、あそびのひろば 等

イ こどもの館劇団養成事業の推進

- ・劇団員数（中・高校生） 11 人
- ・練習期間 平成 29 年 8 月 4 日～25 日（12 日間）
- ・演劇発表会（i）実施日 平成 29 年 8 月 26 日（土）・27 日（日）（各日 2 回公演）
（ii）参加者数 363 人

ウ コンクールの開催

i 朗読コンクール

- ・実施日 平成 29 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）
- ・参加人数 （i）小学校低学年の部 32 人 （ii）小学校高学年の部 26 人
（iii）中・高校生の部 35 人 （iv）グループの部 18 組

ii 手づくり絵本コンクール

- ・応募作品数 630 点（18 歳未満の部：513 点、18 歳以上の部：117 点）
- ・表彰式 平成 30 年 3 月 4 日（日）

エ 演劇活動の推進

i 劇団公演

- ・招聘劇団 人形劇団「クラルテ」
- ・実施日 平成 29 年 9 月 24 日（日）・平成 30 年 3 月 11 日（日）
- ・参加人数 427 人

オ 創作・実践活動等の推進

i 竹・木・紙・リサイクル工作（工作館、実習室）

- ・利用者数 工作館 5,839 人、実習室 28,853 人

ii 手づくり絵本講座

- ・実施日 平成 29 年 7 月 26 日（水）・8 月 3 日（木） ・参加者数 69 人

iii 木版画教室

- ・実施日 平成 29 年 12 月 9 日（土） ・参加者数 54 人

iv 親と子のころぽかぽか劇あそび

- ・実施日 毎月第 4 金曜日 ・参加者数 504 人

v おばけの館

- ・実施日 平成 29 年 7 月 8 日（土）・9 日（日） ・参加者数 768 人

カ 展示活動の推進

日本の伝統的なくらし文化等にふれあう機会を提供し、児童の豊かな情操と創造力を育んだ。

- i 和のひろば（ワークショップ） ii 木とのふれあいワールド

キ 図書活動の推進

- i 蔵 書 絵本、児童書、紙芝居、DVD（約 51,000 冊）

- ii 図書の貸出 13,008 冊

- iii 実施事業 おはなし会（30 回・525 人）、かみしばい会（15 回・1,037 人）、ひこうきシアター（421 回・2,903 人）

② 家庭や地域の子育て力を高める支援活動の推進

ア まちの子育てひろば支援事業の推進

i 「動くこどもの館号」の派遣

家庭や地域の子育て力向上に資するため、まちの子育てひろば及び小規模保育施設等に活動体験指導員・子育て出前相談員等を派遣した。

ii 館内での「まちの子育てひろば」の開催

来館した親子を対象に、ふれあいあそびやわらべうた等を指導した。

【実施状況】

区 分	まちの子育てひろば	小規模保育施設	計
派遣回数(回)	393	62	455
対 象 市 町	36	10	46
参加者数(人)	13,685	1,046	14,731

iii 森の子育てひろば

- ・内 容 自然体験活動をはじめ、わらべうたあそび等
- ・実施回数 32回 ・参加者数 延べ1,229人

イ 「家族ふれあいキャンプ」の実施

区 分	日 時	場 所	参 加 者
第1回	H29.6.3(土)～4(日)	こどもの館 姫路市宿泊型児童館「星の子館」	親子20組 (40名)
第2回	H29.7.1(土)～2(日)	県立いえしま自然体験センター	親子46組 (92名)

ウ 子育て相談・情報の提供

i 子育て電話相談

(ア) 実施体制 相談員(4人)、非常勤嘱託員(2人)

(イ) 実施日 月・水・金曜日 9時30分～16時30分 (ウ) 相談件数 137件

ii 子育て情報の提供

エ 児童健全育成に関する研修会の開催

i 幼児教育研修会

- ・実施回数 10回(うち2回は台風の影響により中止)
- ・場 所 神戸市・姫路市・加古川市 ・参加者 1,111人

ii 子育て支援者等研修講座

- ・実施回数 6回 ・場所 神戸市・姫路市・尼崎市 ・参加者 517人

iii 児童厚生員等研修会

- ・実施回数 13回 ・場所 神戸市・姫路市 ・参加者 466人

オ こどもの館ボランティア活動の推進

児童の健やかな成長を推進するための活動に関心がある中学生以上の個人、団体にボランティアに登録いただき、図書、創作、展示活動等への参画を推進した。

- ・ボランティア活動実績 延べ893人

カ 子育て活動グループの育成・支援

i 子育て活動グループ

県立こどもの館を活動拠点とする、乳幼児を持つ親を中心とする自主的な活動グループの活動を支援した。

- ・グループ数 3グループ ・活動日 毎週又は月2回程度

キ 高校生等による子育て支援体験事業の推進

高校生等が、自尊感情を育み、自分と地域に誇りを持つとともに、乳幼児やその家族とのふれあいを通して子育てを身近なものと感じ、将来親になることへの意欲を高められるよう、世代や地域を越えて人々とふれあいながらの体験活動を実施した。

i ふれあい体験ひろば事業

・高校生等ボランティア登録数 239名 ・高校生等参加数 延べ 822名

・館内事業

- (ア) 実施回数 41回
- (イ) 参加校等 36校 (高校 23校・特別支援学校 2校・大学等 11校)
- (ウ) 内 容 ふれあいマーケット、乳幼児向け保育活動ふれあいミニステージ、ふれあい体験活動 (司会・進行等)

・館外事業

- (ア) 実施回数 16回 (イ) 参加校等 20校 (中学校 1校・高校 14校・大学 1校)
- (ウ) 内 容 防災教室、ステージ、親子手芸教室、写真教室、ダンス教室等

ii クリスマス・イブイブフェスティバル

- ・日 時 平成 29 年 12 月 23 日 (土)
- ・場 所 こどもの館 多目的ホール・円形劇場他
- ・内 容 ステージ発表、実践発表、遊びブース、しゃべり場等
- ・参加者等 高校生等 181 人、一般来館者 3,198 人

iii チャレンジファミリーキャンプ

- ・日 時 プレキャンプ：平成 29 年 10 月 15 日 (日)
本キャンプ：平成 29 年 10 月 21 日 (土)～22 日 (日)
- ・場 所 こどもの館 (多目的ホール等)、姫路市宿泊型児童館「星の子館」
- ・内 容 昔あそび、親子運動会、ウォークラリー、遊びブース等
- ・参加者数(発達障害のある子どもとその家族)
プレキャンプ 親子 11 組 22 人 本キャンプ 親子 13 組 26 人

ク 多世代ふれあい交流サロン

こどもの館を「多世代ふれあい交流の場」のひとつとして開放し、世代を超えたふれあい交流を図った。

・実施日 平成 29 年 6 月 11 日(日)ほか 4 日 ・参加者数 682 人

③ 他機関との連携の推進

ア 各種団体への支援

兵庫県児童館連絡協議会・兵庫県地域活動連絡協議会への支援を行った。

イ 桜山公園周辺 4 館連携事業の推進

こどもの館・姫路科学館・星の子館・姫路市自然観察の森の4つの桜山公園周辺施設が連携し、各館の特性を生かした連携事業や共催イベントを開催した。

(4) 入館者数 337, 516 人

Ⅲ 課題を抱える青少年への専門的な支援

1 県立神出学園の運営

不登校等の青少年が、ゆとりと潤いのある共同生活の中で、自然、人、社会との様々なふれあいや体験を通じて自己に対する理解を深め、自らの進路を発見できるよう支援することにより、こころ豊かな青少年の育成を図った。

(1) 開設

平成6年10月

(2) 所在地

神戸市西区神出町小束野30

(3) 対象・入学生、修了生の状況等

対象(全寮制、月～木曜日：3泊4日)	入学生・修了生	修了生の主な進路
県内に在住する中学校を卒業した23歳未満の男女で不登校等により進路発見ができず、自分の生き方や進路を見つけないという意欲を持ち、体験学習や寮での共同生活ができる者。	入学生 32人 修了生 37人	大学 3人 専門学校 1人 高等学校 23人 各種学校 2人 就職・アルバイト 5人 その他 3人

(4) 月別行事(主なもの)

月	行 事
4月	・入学の集い ・新入生歓迎会 ・新入生オリエンテーション
5月	・羊の毛刈り ・救急法講習会 ・避難訓練
6月	・学力腕試し ・ピッコロ劇団わくわくステージ① ・1日体験旅行 ・楽農生活センター連携事業 ・元気アップセミナー ・7月生選考
7月	・7月生入学の集い ・楽農生活センター連携事業 ・学園夏祭り
8月	・東北ふれあい交流事業 ・オープン講座① ・運営協議会
9月	・宿泊体験旅行
10月	・10月生選考 ・10月生入学の集い ・楽農生活センター連携事業
11月	・神出学園祭 ・元気アップセミナー ・1日体験旅行 ・チャレンジウィーク ・ピッコロ劇団わくわくステージ② ・楽農生活センター連携事業
12月	・オープン講座② ・学力腕試し ・ピッコロ劇団ワークショップ ・クリスマス会
1月	・新春フェスティバル
2月	・第46期4月生選考
3月	・修了記念プログラム ・平成29年度修了の集い ・お別れ昼食会

通年 ・学園説明会 ・アウトリーチ事業 ・おやサポ神出の会
・研修会 ・やまびこの会(保護者会)

(5) 1日交流体験事業の実施(学外者向け)

県内に在住する中学3年生以上35歳以下のひきこもり等の状態にある男女で、人間関係を構築できないで苦悩しており、そのスキルを学ぼうとする意欲のある者を対象として実施した。

- ・実施回数 27回
- ・参加人数 164人(申込者数186人)
- ・主な内容 動物とのふれあい、スポーツ、楽器演奏、進路学習等

2 県立山の学校の運営

自然を中心とした学びの場で、様々な体験活動を通して、たくましく生きる力を培い、自信と勇気と希望を持って、兵庫の未来を拓くこころ豊かな青少年の育成を図った。

(1) 開設

平成5年1月

(2) 所在地

宍粟市山崎町五十波 430-2

(3) 対象・入学生、修了生の状況等

対 象 (全寮制、月～金曜日 4泊5日)	入学生・修了生	主 な 進 路
県内に在住する中学校を卒業した 21 歳未満の男子。豊かな自然の中で、様々な体験活動を通して自分の生き方を見つけたたくましく生きる力を培いたいという意欲のある者	入学生 14 人 修了生 11 人	専修学校等 2 人 高等学校 6 人 就職 3 人

*通年 ・チャレンジ体験プログラム(年間5回) ・冬の1日体験(12月) ・保護者会

(4) 月別行事(主なもの)

月	行 事
4月	・入寮式 ・入学式 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 ・防災訓練 ・普通救急救命講習
5月	・陶芸 ・チェーンソー作業従事者特別教育 ・パラグライダー
6月	・善意の日奉仕作業・ピッコロシアター観劇・唐船山環境整備 ・千種川沿い縦走
7月	・前期職場体験実習 ・グリコピア見学・いえしま体験活動 ・氷ノ山登山・1学期終業式 ・保護者会
8月	・畑の管理
9月	・2学期始業式 ・後期職場体験実習 ・ゴルフ ・書道 ・和太鼓体験・くにみ祭り
10月	・林業の作業場見学・木工(ベンチづくり) ・県民農林漁業祭 ・西播磨ふれあいフェスティバル
11月	・山楽祭(学校祭) ・里山林整備・長水山、音水湖ベンチ設営・テーブルマナー講習会
12月	・こども・若者ひろば ・餅つき ・門松作り ・2学期終業式・こどもの館 X'mas イブイブフェスティバル
1月	・3学期始業式 ・熊本県震災ボランティア研修旅行・小型車両系建設機械特別教育
2月	・小型フォークリフト特別教育 ・修了記念製作 ・修了文集作成 ・花台づくり ・選考試験
3月	・ランシンボク記念植樹・修了式

3 青少年自立支援活動の展開

不登校やひきこもりなど課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、関係機関等で構成する支援ネットワークに積極的に参画するとともに、相談業務の充実を図った。

(1) 「ひょうごユースケアネット推進会議」及び「兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会」への参画・支援

社会生活を営む上で困難を有する青少年を総合的に支援するため、保健・医療、福祉、教育等の分野の30機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議」に指定支援機関として参画した。また、ひきこもりの長期化等に対応する「兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会」に参画し、その主導的役割を果たした。

(2) 「ほっとらいん相談（青少年のための総合相談・ひきこもり専門相談）」の実施

青少年のための総合相談及びひきこもり専門相談を行う「ほっとらいん相談」を運営し、電話によるワンストップ相談及び支援ネットワークを活かした適切な相談機関等への「つなぎ」を行った。

- ・開設日時 週5日（月・火・水・金・土曜日（祝日を除く））
午前：10:00～12:00、午後：13:00～16:00
- ・相談員 主としてひきこもり等の支援を行うNPO等の専門スタッフ
- ・相談日数 243日
- ・相談件数 1,189件（1日当たり4.9件）

IV 新たな社会問題に即応する事業の推進

1 健全な育成環境づくり

青少年の育成環境において大きな問題となっているインターネット上の有害情報やトラブルから青少年を守るために、関係機関・団体等との連携のもと、「青少年のネットトラブル防止大作戦」を県民運動として推進した。

(1) 青少年のネットトラブル防止大作戦の展開

青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、青少年愛護条例の趣旨を踏まえ、様々な主体が連携・協働して、青少年等による主体的なインターネット利用のルールづくりの支援等を推進するとともに、保護者等を対象としたインターネット利用に関する学習及び啓発活動を強化した。

また、県内青少年のネット依存の実態が明らかになったことから、ネット依存傾向にある県内の青少年を対象とした自然体験等のキャンプを実施するとともに、ネット依存の実態や危険性についての啓発を強化した。

① 「青少年のネットトラブル防止大作戦」推進会議の設置・運営

「青少年のネットトラブル防止大作戦」の円滑かつ効果的な取り組みに向けた支援・協力や、青少年の適切なインターネット利用に係る取り組みの検討を行う推進会議を設置・運営した。

<構成団体>

兵庫県立大学（ソーシャルメディア研究会）、幸地クリニック、県立神出学園、（一財）野外活動協会、県PTA協議会、こころ豊かな人づくり500人委員会阪神南OB会、（株）サンテレビジョン、NHK、神戸新聞社、（株）ドコモCS関西、（株）テレックス関西、（一社）いえしま自然体験協会、県教育委員会教育企画課、神戸市教育委員会、県警サイバー犯罪対策課・少年育成課、県青少年課、県青少年本部

② 「青少年のネットトラブル防止」に向けた各種啓発活動及び全県大会「スマホサミット in ひょうご 2017」の実施

平成28年度の全県大会で発表した「ひょうごスマホ宣言2017」等をPRするとともに、「青少年を守り育てる県民スクラム運動」のネットワークを活用した統一キャンペーンを実施するなど、地域の多様な取組主体との連携・協力を図りつつ、積極的な広報啓発活動を展開した。（延べ30回）

また、家庭・学校・地域の関係者が青少年とともに考え、学び、取り組みの輪を広げる機会とする全県大会を開催した。

- ・開催日 平成29年12月16日（土）
- ・参加者 340人
- ・場所 兵庫県公館
- ・内容 小中高生による先進事例発表、「人とつながるオフラインキャンプ2017」結果報告、「ケータイ・スマホアンケート」結果発表、公開討論会、「ひょうごスマホ宣言2018」発表 等

「ひょうごスマホ宣言2018」

- ① もうちょっと そのあとすぐに やめられる？
- ② 消えないよ あなたが出した その写真
- ③ 子を守る 魔法のシステム 親心
- ④ 隠された 危険な感情 よみとれる？

ネット利用の ①時間 ②危険 ③フィルタリング ④人間関係 に関する宣言です

③ 「人とつながるオフラインキャンプ」の実施

県内小中高校生約5,500名を対象とした県の調査で、8.0%の青少年にインターネット依存の疑いがあることなど、県内青少年のネット依存の実態が明らかになったことから、ネットをやめられない県内の青少年を対象として、ネットから離れて自然体験等を行うキャンプを実施するとともに、ネット依存の実態や危険性についての啓発を強化した。

・日程及び参加者数

プレキャンプ	平成29年7月8日(土)	9人
オフラインキャンプ	平成29年8月16日(水)～20日(日) 4泊5日	13人
フォローアップキャンプ	平成29年11月11日(土)	11人

※7月8日(土)、8月16日(水)、8月20日(日)、11月11日(土)は保護者同伴

・場 所 県立いえしま自然体験センター

・報道実績 テレビ7番組、ラジオ1番組、新聞・ネット9本(当本部把握分)

④ インターネット親子学習会の支援

青少年と保護者の情報リテラシー習得のための学習会に対して助成し、保護者等に対するさらなる理解・取組を図るとともに、インターネット問題に関する県民の理解の裾野を広げた。

・助成対象 幼稚園・保育園の保護者会、小・中・高等学校のPTA、青少年団体、自治会等

・助成額 30千円を上限

・助成実績 27件 766千円

(2) 地域における学習会等の開催支援 <自主>

地方青少年本部が中心となって、青少年の防犯、見回り等に係る学習会等の開催支援を行った。

2 少子化・過疎化への対応

少子化の大きな要因の一つである若者の「未婚化・晩婚化」に対応するために、「ひょうご出会いサポートセンター」及び「地域出会いサポートセンター」を設置運営し、1対1のお見合い紹介を行う「ひょうご縁結びプロジェクト」や、独身の男女にパーティ形式のイベント・交流会の機会を提供する「ひょうご出会いイベント事業」等を実施し、社会全体で積極的な出会い・結婚支援を促進した。

(1) ひょうご縁結びプロジェクトの推進

① はばタン会員の募集・登録

結婚を希望する独身男女に、お見合い紹介をする“はばタン会員”を募集・登録した。なお、平成28年度より親族等代理人による登録ができることとした。

- ・はばタン会員：20歳以上の独身の者
- ・会 員 数：5,347人（男2,427人 女2,920人）（H30.3.31現在）
- ・登録手数料：5,000円/年（20歳代は3,000円/年）

② 個別お見合い紹介の実施

地域出会いサポートセンターにおいて、プロフィール閲覧ののち、サポーターの仲介による1対1のお見合い紹介を実施した。

(H30.3.31現在)

プロフィール 閲覧件数(累計)	お見合い実施数 (累計)	交際開始数 (累計)	交際継続中 (3か月以上)	成 婚 数 (累計)
91,401件	28,980組	6,910組	260組	717組

③ ビッグデータを活用したマッチング機能等を含めたシステムの運用

お見合い数や成婚数の増加を図るため、平成29年1月に導入した結婚支援システムの運用及び平成30年3月より東京・神戸間でSkypeでのお見合いを試行的に実施した。

(2) ひょうご出会いイベント事業の実施

独身の男女にパーティ形式のイベントや交流会の情報を発信し、出会いの機会を提供するとともに、大学生を対象に、若い時期から結婚や将来について考える「ライフプランセミナー」等を開催し、男女の新たな出会いから成婚までの過程を支援した。

- ・成婚数 740組（H11年度からの累計）

① あいサポ会員（団体・個人）、あいサポ応援団の募集・登録

ア あいサポ会員（団体）：兵庫県内の企業・団体・自治体等

- ・会員数 175団体（H30.3.31現在）

イ あいサポ会員（個人）：20歳以上の独身の者

- ・会員数 11,877人（男3,574人 女8,303人）（H30.3.31現在）

ウ あいサポ応援団：独身男女の「出会いの場」を企画・運営する兵庫県内のホテル・レストラン・旅行会社等協賛団体

- ・団体数 217団体（H30.3.31現在）

② 出会いの場の開催支援

ア あいサポ応援団等が企画・運営する「出会いの場」への指導助言を行うとともに、イベント情報をあいサポ会員（団体・個人）に提供した。

イ 県内の調和ある発展を図り、地域間の交流を図るため、農山漁村部の男性と都市部の女性等を対象とした出会いイベント事業を実施した。（開催回数：4回）

ウ 平成28年度にモデル実施した看護師、保育士、幼稚園教諭等の専門職向け出会いイベントを本格的に実施した。（開催回数：7回）

エ 恋愛力・結婚力を向上させるためのテクニックを伝授する婚活力アップセミナーを開催した。（開催回数：3回）

③ 若者の結婚意識の醸成

未来の親となる大学生が、早い時期に自らの将来について考える機会を持つことができるように、未婚化・晩婚化の現状、出産適齢期、結婚して家庭を持つことの素晴らしさなどへの理解を深めるセミナーを開催した。

- ・大学生向けライフプランセミナーの開催（開催回数：13回）

(3) こうのとり大使の活動支援

地域で出会い支援事業の普及啓発を行う「こうのとり大使」（知事委嘱）を地域ごとに配置し、大使相互の情報交換会や大使の企画による出会いイベント等の支援を、地域出会いサポートセンターを中心として行った。（こうのとり大使：481人（H30.3.31現在））

- ① 大使相互の情報交換の場として「情報交換会」の開催（開催回数：10回）
- ② 地域ごとに大使が企画・開催する「縁結び交流会」の開催（開催回数：10回）

(4) ひょうご出会い支援団体ネットワーク事業の運営

市町や公益的団体等で構成する「ひょうご出会い支援団体ネットワーク」による情報共有や連携事業を推進した。（ネットワーク団体数：29団体（H30.3.31現在））

(5) 地域出会いサポートセンターの運営

- ① 「地域出会いサポートセンター」（県内10地域）に、「こうのとり出会いコーディネーター」及び「縁結びサポーター」を配置し、独身男女の出会い支援の充実強化を図った。

- ・配置人員 コーディネーター 11人、サポーター 23人

- ・開館日

 - 週4日：7センター（神戸・阪神南・阪神北・東播磨・北播磨・中播磨・西播磨）

 - 週3日：3センター（但馬・丹波・淡路）

- ② ひょうご出会いサポート東京センターを運営し、関東近郊在住の独身男女の結婚を支援することで、兵庫県への移住促進を図った。

- ・配置人員 センター長、課長、コーディネーター1人、サポーター1人

- ・開館日 週4日（火・水・金・土曜日）

- ③ 入居していた庁舎の閉鎖に伴い、平成30年4月、東播磨出会いサポートセンターをより利便性の高い場所に移転し、登録ブースとお見合いブースの増設等による機能強化を図った。

V 青少年活動の展開を支える基盤の充実

1 活動を支える人材の育成

地域で青少年活動・青少年育成活動に取り組む人材・リーダーを育成するため、活動プログラムや交流・学習プログラムを実施した。

(1) 兵庫・沖縄青年リーダー交流事業の実施

兵庫・沖縄友愛運動の一環として、両県の青年が集い、ともに活動することを通して、青年リーダーとしての指導力を身につけ、友愛の絆を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育み、郷土の発展に寄与するリーダーを養成した。

① 夏期〈自主〉

- ・開催日 平成 29 年 9 月 7 日(木)～10 日(日)
- ・場 所 沖縄本島 (名護青少年の家、かりゆしアーバンリゾートナハ、首里城、美ら海水族館、轟壕、平和祈念公園、島守の塔、のじぎくの塔)
- ・参加者 兵庫県 8 人 沖縄県 17 人

② 冬期

- ・開催日 平成 30 年 2 月 8 日(木)～11 日(日)
- ・場 所 香美町 (兎和野高原野外教育センター、香住鶴株式会社、余部鉄橋「空の駅」、豊岡市 (出石永楽館)、三木市(広域防災センター)、神戸市(六甲荘、海外移住文化と文化交流センター、北野工房のまち)
- ・参加者 兵庫県 10 人 沖縄県 8 人

③ 沖縄青年迎える隊

- ・冬期友愛キャンプの事業企画・運営補助に従事するボランティアスタッフを募集し、自ら事前学習を行い、キャンプ当日に兵庫をアピールする者として従事した。
29 年度隊員数 : 10 人

(2) 兵庫・沖縄フレンドシップ事業の実施

兵庫県の小中学生と沖縄県の小中学生が交流を行い、両県の相互理解や友情をさらに深めた。

- ① 実施日 平成 29 年 12 月 23 日 (土・祝) ～26 日 (火)
- ② 場 所 人と防災未来センター、加古川市立少年自然の家、姫路城、姫路セントラルパーク、明石海峡大橋、兵庫県庁
- ③ 内 容 ア 交歓交流会 (12 月 24 日)
 - ・アイスブレイク
 - ・自己アピール大会
 - ・昼食交流会
 - ・エイサー、カチャーシー体験イ 県庁表敬 (12 月 26 日)
- ④ 参加者 兵庫県 59 人 沖縄県 96 人

(3) 青少年活動リーダー・スキルアップ研修の実施 〈自主〉

県内の青少年活動・育成活動に携わる指導者等を対象として、団体・グループ等の枠を越えた広い視野で青少年活動・育成活動のあり方や課題について協議を行い、青少年活動をコーディネートするために必要な専門的知識等を総合的に研修し、リーダーシップの向上と意識高揚を図った。

- ① テーマ 「本物のリーダーになるために…～自分づくり、人づくり、社会づくり～」
- ② 日程 (1回目) 平成30年2月23日(金)
(2回目) 平成30年2月25日(日)
(3回目) 平成30年3月4日(日)
- ③ 場所 兵庫県民会館、神戸元町商店街4丁目
- ④ 参加者 8人

(4) 優れた活動の顕彰 〈自主〉

地域で地道に優れた活動を展開している青少年及び青少年指導者等を表彰するとともに、一般への周知を図り、それらの活動を奨励した。

- ① 兵庫県青少年本部表彰(理事長表彰)
 - ・ 青少年の表彰 6個人・4団体
 - ・ 青少年指導者等の表彰 10個人・2団体
- ② 地方青少年本部表彰(本部長表彰)

(5) ころ豊かな人づくり500人委員育成事業の推進

地方青少年本部長、各地域500人委員会OB会長等で構成する「ころ豊かな人づくり500人委員育成事業実行委員会」が中心となり、県下各地域で青少年育成活動や地域づくり活動に積極的に取り組む人材を養成するとともに、OBの活動を促進するために、各地域OB会活動の交流や情報の提供など、地域での自主的な実践活動を支援した。

また、各地域に専任のファシリテータを配置し、地域にあった課題の解決にむけ、指導・助言を行った。

① 講座内容

ア 全県セミナー(年2回/2年)

セミナー名	実施日	実施場所	参加人数
開講式	H29.8.8	兵庫県公館	205人
平成29年度全県OB交流会	H29.11.25	兵庫県民会館	235人

イ 地域別セミナー(年4回/2年)

各地方本部等が主体となって、地域セミナー及びフィールドワークを実施。

ウ 教養講座(年2回以上/2年)

i 全県

セミナー名	実施日	実施場所	参加人数
スマホサミット in ひょうご 2017	H29.12.16	兵庫県公館	55人
平成29年度「ふるさとづくり青年隊」成果発表会	H30.3.17	兵庫県公館	43人

ii 地方本部

各地方本部が選考した講座の聴講

② 委員の状況 (H30. 3. 31 現在)

(単位：人)

区 分	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	計
委員数	61	19	21	54	30	21	22	19	24	32	303
男	29	6	9	23	19	9	14	7	16	18	150
女	32	13	12	31	11	12	8	12	8	14	153

(6) 「放課後児童支援員」研修事業の実施

子ども・子育て支援法の施行(平成27年4月1日)に伴い、留守家庭の小学生を対象とした放課後児童クラブに従事する「放課後児童支援員」の拡充と資質向上を図るため、県からの委託を受けて、支援員として必要な知識・技能の習得と、それを実践する際の基本的な考え方や心得を認識してもらうことを目的とした研修を実施した。

① 放課後児童支援員認定研修 (認定事務は県が実施)

- ア 年間受講者数 1,126人 (うち修了者1,090人)
- イ 開催回数 11回 (1回の研修期間:4日間)
- ウ 開催場所 県内5カ所 (神戸、阪神南、東播磨、中播磨、但馬)
- エ 研修項目
 - ・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解
 - ・子どもを理解するための基礎知識
 - ・放課後児童クラブにおける子どもの育成支援
 - ・放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携、協力
 - ・放課後児童クラブにおける安全・安心への対応
 - ・放課後児童支援員として求められる役割・機能 など

② 放課後児童支援員の資質向上研修

認定を受けた放課後児童支援員のさらなる資質向上を図るため、必要な知識・技術の習得及び課題や事例を共有するための研修を実施した。

- ア 受講者数 148人
- イ 開催回数 2回 (1回の研修期間:1日間)
- ウ 開催場所 県内2カ所 (神戸、中播磨)

(7) 青年洋上大学海外養成塾

姉妹提携 35 周年を迎える西オーストラリア州 (オーストラリア) を訪問し、次代を担う青年が現地青年との交流をはじめとする多彩な体験活動を通して国際的視野を身につけ、地域・職域・団体の中核となって地域社会に貢献する青年リーダーを育成した。

① 実施時期

- 事前研修会：平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～ 23 日 (日)
- 直前研修会：平成 29 年 9 月 10 日 (日)
- 本 研 修：平成 29 年 9 月 16 日 (土) ～21 日 (木)
- 事後研修会：平成 29 年 10 月 14 日 (土) ～15 日 (日)

② 参加者 42人

③ 訪問地 オーストラリア(西オーストラリア州パース)

④ 研修内容

- ア 現地青年との交流・交歓を通じた異文化や価値観の体感・理解、大学訪問や企業理解等の多様な体験活動を行った。

イ 海外での研修に先立ち、参加青年相互の結束や訪問国について学ぶ事前研修、派遣の成果を地域での実践活動につなげる事後研修を行った。

[本研修の行程]

月日 (曜)	内 容	宿泊先		
9/16 (土)	・関西国際空港発、チャンギ空港 (シンガポール) 着	シンガポール		
9/17 (日)	・チャンギ空港発、パース空港着 ・キングスパーク視察	パース		
9/18 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・州政府表敬訪問 (学生代表・副代表) ・州議会視察 (その他の学生) ・雇用、観光、科学イノベーション省訪問 ・企業理解 <table style="border: none; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 西オーストラリア州兵庫文化交流センター (株)三井住友銀行 シャークベイ・ソルト社 </td> <td style="font-size: 3em; padding: 0 10px;">}</td> </tr> </table> ・西オーストラリア大学・カーティン大学訪問 (対面式、交流会(両国学生によるディスカッション等)) ・夕食交流会 (演し物披露等による交流会) 	西オーストラリア州兵庫文化交流センター (株)三井住友銀行 シャークベイ・ソルト社	}	パース
西オーストラリア州兵庫文化交流センター (株)三井住友銀行 シャークベイ・ソルト社	}			
9/19 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロットネスト島視察 ・フリーマントル視察 ・研修の振り返り 	パース		
9/20 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・パース市内視察 ・パース空港発、チャンギ空港着 	機中泊		
9/21 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンギ空港発、関西国際空港着 ・解散式 			

2 活動拠点の充実

青少年や県民が青少年活動等について学習し、交流する拠点の充実を図った。

(1) 青少年交流プラザの運営

青少年や青少年団体等の主体的な「学習・交流の場」として、兵庫県青少年団体連絡協議会と共同で、青少年交流プラザを運営した。

- ① 開設場所 兵庫県民会館 7階
- ② 開設時間 月曜～金曜 9:00～21:00
土・日曜 9:00～17:00 ※休館日あり
- ③ 利用者数 7,733人

3 地域における活動の充実

各地域の青少年の状況や地域特性を踏まえた青少年活動、青少年育成活動を、地域の団体・機関と協働し、住民等の参画を得ながら展開した。

(1) 地域活動コーディネーターの設置

地域における青少年活動・青少年育成活動を推進するとともに、地域団体や地域住民の様々な地域づくり活動を効果的に支援するため、県民運動を支援する団体間のネットワーク等を生かし、青少年や地域づくりの分野において幅広く活動できる「地域活動コーディネーター」を設置した。

- ・設置人数 10人〔本部（神戸事務部）1人、地方本部9人〕

4 運営体制

(1) 理事会の開催

開催日	開催地	出席者数	審議・協議事項
H29. 4. 1	神戸市 (兵庫県民 会館)	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の選定の件 ・ 業務執行理事の選定の件 ・ 業務執行理事の業務分担の件
H29. 6. 13	神戸市 (兵庫県民 会館)	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度事業報告の件 ・ 平成 28 年度決算の件 ・ 平成 29 年度定時評議員会開催の件 ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
H29. 11. 2	みなし 理事会	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立こどもの館及び県立山の学校におけるトイレ改修事業の受託及びそれに伴う平成 29 年度収支予算補正の件
H30. 3. 19	神戸市 (兵庫県民 会館)	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度収支予算補正の件 ・ 平成 30 年度事業計画の件 ・ 平成 30 年度収支予算の件 ・ 平成 29 年度第 3 回評議員会開催の件 ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

(2) 評議員会の開催

開催日	開催地	出席者数	審議・報告事項
H29. 4. 1	みなし 評議員会	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤理事等の報酬額月額の改定の件
H29. 6. 27	神戸市 (兵庫県立 ひょうご女 性交流館)	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度決算の件 ・ 理事及び監事の選任の件 ・ 評議員の選任の件 ・ 平成 28 年度事業報告について
H30. 3. 28	神戸市 (兵庫県 民会館)	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の選任の件 ・ 平成 29 年度収支予算補正について ・ 平成 30 年度事業計画について ・ 平成 30 年度収支予算について

(3) 正会員の開催

開催日	開催地	出席者数	審議・報告事項
H30 3. 2	神戸市 (兵庫県職員会館)	26 人	<ul style="list-style-type: none">・平成 30 年度事業計画(案)について・重点事業(案)について<ul style="list-style-type: none">①兵庫県青少年本部創立 50 周年記念事業について②ふるさとづくり青年隊事業について③青少年のネットトラブル防止大作戦の展開について④ひょうご出会いサポートセンター事業について・正会員(団体等)の情報交換等について

(4) 地方青少年本部長会議の開催

開催日	開催地	出席者数	議題・報告事項
H29. 11. 8	神戸市 (兵庫県民会館)	19 人	<ul style="list-style-type: none">・出会いサポートセンターの新システムの効果について・兵庫県青少年本部創立 50 周年記念事業(案)について・第 15 期こころ豊かな人づくり 500 人委員会の現状・青少年愛護条例の改正について
H30. 2. 26	神戸市 (兵庫県立ひょうご女性交流館)	19 人	<ul style="list-style-type: none">・平成 30 年度本部事業計画(案)について・平成 30 年度重点事業(案)について<ul style="list-style-type: none">①ふるさとづくり青年隊事業について②青少年のネットトラブル防止大作戦の展開について③ひょうご出会いサポートセンター事業について・兵庫県青少年本部創立 50 周年記念事業(案)について・平成 30 年度各地方青少年本部自主事業計画(案)について

【別紙】

各地方青少年本部等の状況

地方青少年本部及び神戸事務部において、地域特性を踏まえた青少年健全育成のための普及・啓発・顕彰、青少年団体への助成、地域特性を踏まえた体験活動の実施など様々な事業を展開した。

(1) 阪神南青少年本部

事業名	内容
事業及び青少年活動情報等の収集及び発信	<p>阪神南青少年本部事業や青少年活動情報等を発信するため、広報紙の発行やホームページの運営、啓発資材の作成等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 広報紙の発行（年2回、各800部） 啓発資材の作成、配布
助成金の交付	<p>文化・スポーツ・レクリエーション活動等の普及・定着を図るため、青少年団体等が実施する事業に助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成実績 5団体
親子ふれあいいきいきわくわく野球観戦の開催	<p>親子のふれあいを深めるため、阪神南地域が誇る阪神甲子園球場において、親子での野球観戦を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成29年6月30日(金) ・実施場所 阪神甲子園球場 ・参加者 一般公募：親子822人、施設招待：142人
小学生スナッグゴルフ大会の開催	<p>阪神南地域で先進的に取り組まれているスナッグゴルフを通じて、マナーの習得や自己判断の育成等を図る大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成29年8月17日(木) ・実施場所 西宮カントリー倶楽部 ・参加者 小学生126人
親子ふれあいイベントの開催	<p>阪神南地域の施設において、親子のふれあいや地域への愛着を深めるためのイベントとして、親子でのバスケットボール観戦を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成30年2月17日(土) ・実施場所 西宮市立中央公民館 ・参加者 親子88人
青少年スポーツ文化体験事業の実施	<p>地域への愛着を深めふるさと意識を醸成するため、阪神南地域の施設において、親子でスポーツ文化体験を行う機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 親子カヌー体験 親子アイススケート体験 親子演劇鑑賞体験 親子音楽鑑賞体験 ・実施日 平成29年7月28日(金)ほか ・実施場所 兵庫県立海洋体育館ほか ・参加者 親子634人（4事業合計）
阪神南青少年本部長賞の贈呈	<p>阪神南地域で地道に優れた活動を展開している青少年等を表彰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成29年11月17日(金) ・受賞者 個人 4人、団体 1団体

(2) 阪神北青少年本部

事業名	内容
青少年活動の情報発信	<p>広報誌の発行とホームページの活用により、青少年健全育成の啓発を図るとともに阪神北青少年本部事業の情報を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none">・広報誌「阪神北青少年本部だより」 (発行部数：春号 500 部、冬号 1, 500 部)
阪神北若い力の魅力発信事業	<p>若い世代が持つ可能性を再認識し、ふるさと意識の更なる醸成を計るため、阪神北地域の市民、団体、市町等が一体となって実施する「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の場で、日頃の活動成果を発表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・イベント名 「HYOGO 彩りフェスタ」 ※「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」のシンボルイベント・実施日 9月3日(日)・会場 キセラ川西せせらぎ公園(川西市)・参加者 11 団体 (阪神北地域を拠点に活躍する若者、若者団体・グループ)
こころ豊かにのびよう！ のぼそう！ひょうごっ子 「宝塚フォーラム」	<p>青少年が夢を持ち、夢に向かって努力することや豊かな人間性を身につけることの大切さなどを家族で一緒に考え、また、芸術文化に親しむ心を養えるよう、「夢」をテーマにした知事とタカラジェンヌのトークと、宝塚歌劇親子鑑賞の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none">・実施日 2月11日(日・祝)・会場 宝塚大劇場・参加者 2,404 人
阪神北青少年本部表彰	<p>阪神北地域で優れた活動を展開している青少年、青少年団体・グループ及び青少年指導者を表彰することにより、その活動を奨励した。</p> <ul style="list-style-type: none">・実施日 11月3日(金・祝)・会場 アステホール(川西市)・被表彰者 青少年1名、青少年団体等1団体、青少年指導者3名

(3) 東播磨青少年本部

事業名	内容
普及啓発事業	青少年健全育成のため、親や大人が社会のルールを守るなど自らの生き方を省みて、大人から変わることが大切という街頭啓発キャンペーンを実施し、ロゴ入り啓発バッグを作成・配布した。 ・実施時期 11月9日(木)
水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール (北播磨と共催)	“水”の大切さについて、小学生及び中学生の理解を深めるため、水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクールを実施した。 ・応募点数 96校2,039点 ・受賞点数 68点(小学生の部34点、中学生の部34点) ・表彰式 12月2日(土)
少年の主張東播磨大会	中学生が日常生活や団体行動等を通して感じていること、考えていることを主張することにより、社会の一員としての役割や責任を自覚する機会を提供した。 ・実施時期 8月18日(土) ・実施場所 加古川総合庁舎5階会議室 ・参加人数 約140人
ホームページによる情報発信	ホームページの充実を図り、東播磨青少年本部の取組を幅広く情報発信した。
東播磨青少年本部だよりの発行	東播磨青少年本部の活動を紹介し、事業への理解と協力を促すとともに、青少年健全育成に向けた普及啓発を行った。 ・発行時期 3月 ・発行部数 1,000部
第38回未来をひらく少年会議 (北播磨と共催)	管内の中学生・高校生が一堂に会し、設定したテーマ「災害に備え、家族・地域・わたしたちにできること」について意見交換や討議を行い、前向きに生きていこうとする意欲と態度を養う機会を提供した。 ・実施時期 8月27日(日) ・実施場所 兵庫大学 ・参加人数 中高生等270人
子ども会議 (東播磨地区子ども会連絡協議会と共催)	管内の小学生が一堂に会し、地域のこと、身の回りのことについて考え、意見交換する中で、主体的に地域活動に参画しようとする意識を育むため、「考古博物館見学、勾玉づくり」による交流を実施した。 ・実施時期 12月9日(土) ・実施場所 大中遺跡公園 ・参加人数 小学生71人
子どもの体験学習	東播磨県民局等と連携し、環境学習、ものづくり産業等の自然体験や生活体験を実施し、子どもの健やかな成長の支援を行った。 ア 親子で地球温暖化防止への取り組みを楽しく学べる自然観察会を実施。(東播磨県民局への支援) ・実施時期 7月29日(土) ・参加者 小学生と保護者 29人、28人 イ 東播磨管内の「ものづくり産業」と「水辺」の魅力を実感してもらう「東はりまの魅力KIDS体験ツアー」を実施。(東播磨県民局と共催) ・実施時期 7月28日(金)、8月8日(火)、8月25日(金) ・参加者 小学生と保護者 40人、40人、40人
東播磨青少年本部の賞	東播磨地域における青少年健全育成等に貢献した個人及び団体への表彰を行い、その活動を奨励した。 ・実施時期 平成30年2月1日(木) ・実施場所 加古川市民会館 小ホール ・受賞者 個人の部 15人

(4) 北播磨青少年本部

事業名	内容
第15回どろんどろんサッカー大会	<p>大学生や社会人ボランティアが企画・運営する「水田の中での小学生サッカー大会」を通して自然の体感や仲間づくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：6月4日(日) ・場所：県立やしろの森公園 ・参加者：138人
第38回未来をひらく少年会議 (東播磨と共催)	<p>管内の中学生・高校生が一堂に会し、設定したテーマ「災害に備え、家族・地域・わたしたちにできること」について意見交換や討議を行い、前向きに生きていこうとする意欲と態度を養う機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 8月27日(日) ・実施場所 兵庫大学 ・参加人数 中高生等270人
第8回北播磨地区子ども会議 (北播磨地区子ども会連絡協議会と共催)	<p>管内各市町子連の会員(小・中学生)が一堂に会し、予め設定したテーマについて、意見交換することにより、子どもの主体性を育み地域間交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：11月19日(日) ・場所：加東市滝野図書館 ・参加者：73人
水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール (東播磨と共催)	<p>“水”の大切さについて、小学生及び中学生の理解を深めるため、水辺を美しくするポスター運動啓発コンクールを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～9月 ・表彰日：12月2日(土) ・北播磨管内受賞者：34人
北播磨青少年健全育成事業 (活動奨励費補助事業)	<p>市町を越えて広域で実施している青少年健全育成事業に対し助成した。 (1団体30千円)</p>
北播磨青少年本部長表彰	<p>青少年健全育成等に貢献した個人・団体を表彰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：30年3月4日(日) ・場所：やしろ国際学習塾 ・受賞者：3団体・10人
北播磨青少年本部長賞	<p>少年の主張県大会の北播磨地域での選考における成績優秀者に対し賞を交付した。</p>
北播磨青少年本部だより	<p>北播磨青少年本部事業を紹介し、広く住民に活動内容を広報した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行月：30年3月 ・発行部数：1,200部
青少年健全育成・非行防止普及啓発事業	<p>啓発資材を作成し、青少年の健全育成を目的とする会議やイベント、有害環境実態調査先等で配布することによって、青少年を守り育てる県民スクラム運動を展開した。</p>

(5) 中播磨青少年本部

事業名	内容
青少年健全育成・非行防止啓発事業	<p>啓発資材を活用し、青少年の健全育成を目的とするイベントやセミナー等で配布することによって、青少年を守り育てる県民スクラム運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ボールペン製作数：1,000個 ・有害環境実態調査先ほか関係機関会議等にて配布
中播磨少年の主張審査会	<p>中播磨地域の中学生が日頃感じていること、考えていることを自分自身の言葉でまとめ、広く発表する機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：8月29日（火） ・実施場所：姫路職員福利センター ・審査委員による作品選考
インターネットによる情報発信	<p>中播磨青少年本部事業への理解を深めるとともに、誰もが利用しやすいよう、各種事業を情報発信し、青少年育成活動の啓発を行った。</p>
リーフレットの作成	<p>中播磨青少年本部の事業を照会するリーフレットを作成して配布し、事業への理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布時期 5月～随時 ・配布部数 1,200部
青少年健全育成への支援	<p>青少年の健全育成を目的とする大会・事業等の後援等を行った。</p>
親子・世代間のふれあい事業	<p>① わくわく体験フェアの実施</p> <p>子ども達に「おもちゃの手作り」等様々な遊びを体験するフェアを実施する予定であったが、台風の影響により急遽中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定日：10月29日（日） ・予定場所：姫路港飾万津臨港公園
	<p>② ふれあいハイキングの実施</p> <p>こころ豊かな人づくり500人委員中播磨OB会との共催で実施し、自然の中を歩き、親子をはじめ参加者同士の交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：11月26日（日） ・実施場所：鹿ヶ壺（姫路市安富町） ・参加者数：104人
	<p>③ 夏休み親子カヌー体験会の実施</p> <p>小学生と保護者を対象に、中播磨地域を流れる市川（約3km）をカヌーで下り、親子で水辺の楽しさと危険を学びながら、ふれあいや絆を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：8月5日（日） ・実施場所：市川（東阿保緑地公園 姫路市四郷町山脇） ・参加者数：10組24人
中播磨青少年本部長表彰の実施	<p>中播磨地域で優れた活動を地道に展開している青少年及び青少年団体・グループ並びに青少年指導者及び青少年育成団体等を表彰することにより、その活動を奨励した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：11月5日（日） ・実施場所：県立ものづくり大学校、網干南公園ふれあいの館 ・被表彰者数：7個人、2団体
中播磨青少年本部特別功労者感謝状の贈呈	<p>中播磨青少年本部の発展に特別の功労があった者（2団体1個人）に対し、感謝状の贈呈を行った。</p>

(6) 西播磨青少年本部

事業名	内容
青少年健全育成・非行防止啓発事業	<p>啓発資材を活用し、青少年育成セミナー等において「大人が変われば子どもも変わる」啓発活動を実施した。</p> <p>・実施時期 平成29年7月～平成30年3月</p>
西播磨少年の主張審査会	<p>地域の中学生在が日ごろ感じたり、考えたりしていることを広く発表できる県大会への出場者を選考した。</p> <p>・実施時期 9月8日・作品選考</p>
ホームページによる情報の発信	<p>西播磨青少年本部の活動を紹介するホームページの充実により、広く情報を発信した。</p>
機関紙の発行	<p>西播磨青少年本部の活動を紹介する「西播磨青少年本部だより」を発行した。</p> <p>・時期・部数 年1回 800部発行</p> <p>・実施時期 3月</p>
西播磨地域ふれあい活動促進事業	<p>青少年の自主性を育む体験活動や青少年育成についての講演、研修会等の活動に助成した。</p> <p>・助成額・団体数 5万円・4団体、4万円・1団体</p>
親子ふれあい体験事業	<p>1 「親子ドラゴンボート体験事業」の実施</p> <p>・実施時期 8月19日</p> <p>・実施場所 相生市内</p> <p>・参加者 親子等153人</p>
	<p>2 ふれあいハイキングの実施</p> <p>・実施時期 3月11日</p> <p>・実施場所 佐用町内</p> <p>・参加者 親子等292人</p>
地域文化体験事業	<p>地域で活動する文化・芸術を鑑賞、体験することにより、地域で培われてきた文化を学んだ。</p> <p>・実施時期 11月26日</p> <p>・実施場所 西播磨文化会館</p>
西播磨青少年本部長表彰	<p>西播磨管内で青少年の健全育成に取り組む者・団体を表彰した。</p> <p>・実施時期 11月26日</p>

(7) 但馬青少年本部

事業名	内容
但馬青少年本部 だよりの発行	<p>青少年本部の活動や事業等を紹介するとともに、青少年の健全育成を図る普及啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第57号 3月に1,500部発行
第27回 但馬中学生からの メッセージ	<p>社会の一員としての役割や責任を自覚し、新しい時代を切り拓く担い手としての成長を促すため、但馬市郡代表中学生による弁論大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 8月26日(土) ・会場 但馬長寿の郷(養父市) ・発表者 6名 ・聴講者 120人
第4回山陰海岸ジオ パーク小学生駅伝競走 大会兼第28回但馬 小学生駅伝競走大会	<p>山陰海岸ジオパークエリアの他府県市町と但馬の小学生が、長距離走を通して個人の心身を鍛えるとともに、1本のタスキをつなぎあわせながらゴールを目指す中で、仲間意識の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 10月28日(土) ・場所 但馬ドーム周辺駅伝コース ・参加チーム 107チーム(但馬96、但馬外11) ・参加児童数 597人(但馬539、但馬外58)
顕彰事業及び支援	<p>1 顕彰・表彰 「但馬青少年本部長表彰要綱」に基づき、青少年活動において顕著な活動をしている個人や団体、指導者を表彰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 8月26日(土) ・会場 但馬長寿の郷(養父市) <p>2 支援 青少年健全育成を目的とした5事業に対して後援を行った。</p>
青少年健全育成支援	<p>青少年を取り巻く諸問題のうち保護者や青少年育成団体等が実施する学習会等に要する経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 5団体 ・助成額 120千円
普及啓発事業	<p>青少年本部の事業全般及び青少年の社会参画を支援するための情報提供・発信を行うことで、青少年健全育成や青少年活動の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年本部事業、関係団体等の広報・啓発資料等の配布・開架 ・ホームページによる地方本部自主事業等の情報発信
但馬の未来に向けて高 校生の夢実現プロジェ クト	<p>昨年度、但馬の高校生に発表してもらった但馬をフィールドにした地域の活性化事業「夢」の実現のための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援校 3校

(8) 丹波青少年本部

事業名	内容
普及啓発事業	<p>1 丹波青少年本部普及啓発事業 丹波青少年本部の取組への理解と普及啓発を図るため、記念品の提供や啓発資材の配布を行う他、後援等による支援を4件行った。</p>
	<p>2 マナーアップ啓発事業 青少年とともに地域を考える研修会を開催した。 【実施日】 2月3日(土) 【内容】 管内6高等学校による実践事例発表等 【参加者】 87人</p>
ホームページによる情報の収集及び発信	<p>県本部のホームページを活用し、丹波青少年本部の取組を広く発信した。</p>
丹波青少年本部だより	<p>丹波青少年本部だよりを発行した。 第55号(3月発行) 1,000部</p>
青少年育成事業	<p>1 たんば子ども塾 丹波地域の6高等学校の生徒が講師役となり、各高校ごとに特色あるテーマを設定し、小学校児童を指導することを通して相互の交流を図るとともに豊かな感性や自立心を育んだ。 【実施期間】 7月26日(水)～8月29日(火) 【実施場所】 丹波地域内6高等学校 【実施回数】 6講座 【参加者】 のべ227人</p>
	<p>2 丹波の森若者塾 管内の高校生が、自校の特色を生かした地域課題等の研究テーマを設定し、丹波の地域づくりに参画する大学の教員及び大学生のサポートを受けながら、設定したテーマについて研究・体験・交流活動を行い、活動内容を2月3日の合同フォーラム(参加者数87人)で発表した。 【参加高校】 丹波地域内6高等学校 【協力大学】 神戸大学、関西学院大学、関西大学</p>
丹波青少年本部長賞	<p>丹波地域で優れた青少年活動を展開している個人及び団体・グループを表彰した。 ・受賞者 個人 6人 団体 3団体</p>

(9) 淡路青少年本部

事業名	内容
淡路青少年の主張大会	<p>淡路の小・中学生が社会の一員としての役割や責任を自覚し成長することを願い、淡路島の魅力や日常生活等を通して感じたり、考えていることを主張する作文を募集し、入選者による発表大会を実施した。またその作文集を作成し、関係者等へ配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 平成29年8月26日(土) ・実施場所 洲本市市民交流センター ・参加者数 719人(作文応募者) (※大会来場者数 約100人)
ホームページによる情報発信	<p>淡路青少年本部の活動や事業等をインターネット等で紹介し、青少年本部に対する理解と協力を呼びかけるとともに、青少年の健全育成に向けた普及・啓発を行った。</p>
機関紙「ヤングあわじ」の発行	<p>淡路青少年本部の活動や事業等を紹介し、青少年本部に対する理解と協力を呼びかけるとともに、青少年の健全育成に向けた普及・啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回(3月) 500部発行
青少年健全育成に関する事業への助成	<p>青少年の健全育成を目的とする事業等へ助成した。</p>
淡路島みんなでウォーキング	<p>自然とのふれあい、人と人とのふれあいを通し、お互いの結びつきを強めるとともに、思いやりとたくましさをもった青少年を育てることを目的として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 平成29年11月23日(木・祝) ・実施場所 淡路市 (AIE国際高等学校生田キャンパス～東山寺～パルシェ香りの館) ・参加者 130人
青少年活動に対する顕彰制度	<p>地域で地道に青少年活動を支援している人たちの奨励を図るとともに、青少年活動を支える人材の発掘、活用を推進するため、淡路青少年本部長賞を贈呈し、表彰式を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集時期 4月 ・実施時期 平成29年7月3日(月) ・被表彰者 2人

(10) 神戸事務部

事業名	内容
夏休み子ども木工教室	<p>日頃なじみの少ない木材や道具を使って、親子でふれあいながら、ものづくりの楽しさを体験した。</p> <ul style="list-style-type: none">・開催日時：8月24日（木）・開催場所：ふたば学舎・参加者数：小学生46人、保護者36人、計82人
六甲山を親子で学ぼう！展	<p>六甲山の歴史を、昭和初期の開発が進んだ時代の写真や資料のパネル展示を通じて学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none">・開催日時：11月26日（日）・開催場所：ふたば学舎・参加者数：親子60人

事業報告の附属明細書

1 評議員（平成30年3月31日現在）

氏名	他の役職等
金澤 和夫	兵庫県副知事
坂本 津留代	NPO法人ニューいぶき理事長
桜間 裕章	神戸新聞社常勤監査役
高木 慶子	上智大学グリーンケア研究所特任所長
中後 和子	学校法人和弘学園理事・明舞幼稚園長
塚本 哲夫	六甲バター(株)代表取締役会長
中村 留美	弁護士
速水 順一郎	兵庫県青少年団体連絡協議会会長
鈴木 武	日本ボーイスカウト兵庫連盟理事長

2 役員（平成30年3月31日現在）

役員の種類	氏名	他の役職等
理事長	梅谷 順子	
業務執行理事	吉本 義幸	
業務執行理事	坂本 好也	
業務執行理事	横山 佐和子	県立こどもの館館長
理事	下前 康夫	一般財団法人野外活動協会理事兼事務局長
理事	富永 千世	兵庫県青年洋上大学同窓会顧問
理事	中尾 信也	一般社団法人日本ベビーサイン協会事務局長
理事	小林 勝弘	北播磨青少年本部長
理事	有本 方子	兵庫県企画県民部女性青少年局長
監事	藤原 一幸	
監事	渡邊 康夫	公認会計士

3 会長・顧問・参与（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	他の役職等
会長	井戸 敏三	兵庫県知事
顧問	野尻 武敏	こころ豊かな美しい兵庫推進会議顧問
顧問	栗原 高志	元（公財）兵庫県青少年本部理事長
参与	大西 孝	前（公財）兵庫県青少年本部理事長

4 正会員及び賛助会員の入会状況（平成30年3月31日現在）

区分	正会員	賛助会員		名誉賛助会員	
		団体	個人	団体	個人
会員数	41 団体	230 団体	865 人	21 団体	14 人
会費	10,000 円	1 口 10,000 円	1 口 2,000 円	1 口 100,000 円	1 口 100,000 円
口数	—	696 口	984 口	113 口	21 口
金額	410,000 円	6,968,290 円	1,969,000 円	11,300,000 円	2,100,000 円

※ 賛助会費計 8,937,290 円（地方本部を含む。）